

会議結果報告書

平成27年 2月10日

会議の名称	志木市デマンド交通連絡調整会議
開催日時	平成27年 2月 5日 (木) 10時00分～11時04分
開催場所	301、302会議室
出席委員	高島委員、植松委員、小林委員、須田委員、小山委員、宮崎委員 木部委員、抜井委員 (計 8人)
欠席委員	なし (計 0人)
説明員職氏名	(新たな交通手段検討プロジェクト・チーム) 山崎リーダー (計 1人)
議題	議題 (1) 会長、副会長の選出について (2) 志木市デマンド交通実証実験の概要について (3) その他
結果	(1) 会長、副会長の選出について、会長が抜井市民生活部長、副会長が三和富士交通株式会社埼玉営業所の小林副所長となった。 (2) 志木市デマンド交通実証実験の概要について、資料No.3、志木市デマンド交通実証実験(案)の概要を基に、事務局より説明が行われ、おおむね了承いただいた。 (3) 事務局より、次回の会議について、また運用マニュアルの調整についての連絡があった。 (傍聴者 0人)
事務局職員	市民生活部：土岐次長 生活安全課：大熊課長 新たな交通手段検討プロジェクト・チーム： 山崎リーダー、篠崎サブリーダー、八木主査 (計 5人)

審議内容の記録（審議経過、結論等）

- 1 開会
- 2 主催者あいさつ
- 3 委嘱状交付
- 4 出席者紹介
- 5 議題

（1）会長、副会長の選出について

志木市デマンド交通連絡調整会議設置第5条第2項の規定に基づき、抜井委員が会長となる。

副会長については会長の指名となっているので、既に三芳町でデマンド交通の実証実験を実施し、そのノウハウを有している三和富士交通株式会社の小林委員を会長が指名。

（2）志木市デマンド交通実証実験の概要について。

高齢者や障がい者、子育て世代などの、病院や商業施設への移動手段として、平日の8時30分から17時までの間、市内限定で既存のタクシーを活用した「志木市デマンド交通」の導入に向けて実証実験を実施し、利用状況や他の公共交通に与える影響などについて検証する。

【質疑応答】

委員）300円という運賃の決め方は。

説明員）県内でデマンド交通を先行している自治体を見ると300円としている自治体が一番多く、また、既存のバス運賃より安くないようにした。

委員）共通乗降場というのは、拠点となるバス停なども考えているのか。

説明員）そのとおり。

委員）病院等の施設でも、接続線として路線バスに乗り換えも考えているのか。

説明員）市外へのアクセスとして、バスに乗り換えを考えている。

委員）乗換ポイントの整備が課題で残っているのではないか。

会長）今の点について、事務局で十分調整してほしい。

委員）事前の周知活動について、現時点で考えがあるのか。

説明員）通常の広報に加えて、パンフレットの同時配布や説明会を実施する。

委員）共通乗降場の周知や運用の仕方をうまく周知できればと思う。

説明員）実際の細かい運用の部分については、事務局でマニュアル作成しているので、事業者と調整していく。

委員) 予約が一週間前から直前となっているが、直前とはいつなのか。
障がい者の方は手帳を持っていて、その割引のほうはどうなのか。

説明員) 今後、内容を詰めさせていただきたい。

委員) デマンド交通の目的をはっきりしたほうがいい。
不正利用に対し対策を講じておかなければならない。
タクシー事業のルールにのっとった形でやらなければならない。
利用のルールの明確化が必要で、事業者と調整したほうがいい。

説明員) 今後、調整していく。

委員) ルールの明確化、目的の明確化、呼称、既存公共交通事業に配慮した共通乗降場の検討。

説明員) 今後、調整していく。

(3) その他について

【事務局より】

- ・今後の会議の予定について
実証実験のデータを整理し、検証してくタイミングで、会議を開催する。
- ・詳細運用について
タクシー事業者と調整を図るため、準備が整い次第連絡する。

【質疑応答】

なし

6 閉会

<結論>

概要については、おおむね了解いただいた。ただし、各委員から意見のあった詳細についての疑問点や再検討の内容については、デマンド交通の運行事業者と調整し、運用方法やルールを明確化していく。